

2021年3月10日

京都国際舞台芸術祭実行委員会

1. はじめに

本ガイドラインは、KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2021 SPRINGにおける新型コロナウイルス感染症拡大予防対策を策定した「KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2021 SPRING新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」の内容を踏まえながら、中間アヤカ&コレオグラフィ『フリーウェイ・ダンス』公演における演出内容を鑑み、本公演に限った演出内容及びそれに対応する感染症予防対策について定めるものです。

本ガイドラインは、新型コロナウイルス感染症に対する新たな知見などを踏まえ、また本公演の演出内容に変更が生じた際には、必要に応じて改訂を行うものとします。

2. 中間アヤカ&コレオグラフィ『フリーウェイ・ダンス』公演における新型コロナウイルス感染症拡大予防対策

「KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2021 SPRING新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン」の基本内容を遵守しながら、一部公演内容に沿って下記の通り別途対策を設ける。また、本対策について、公演前に来場者への周知に努めるとともに、公演会場においても掲示等で周知に努めるものとする。

(1) 開演前のクロークにおける対策

本公演では、演出のコンセプトとして、来場者が公演会場内を自由に歩き回ることができることから、公演当日に公演会場とは別途クロークを設け、来場者が手軽に鑑賞できるようにする。これに関して、下記の通り感染症予防対策を設ける。

- 来場者の上着や荷物を預かるスタッフは、マスクの着用（必要に応じてフェイスシールド）と手指消毒を徹底する。
- クローク札等は使い捨てのものを使用する。
- ハンガー、荷物を預かる机などは事前・事後に消毒を徹底する。
- クロークスペースは適宜換気に努める。

(2) 会場内及び来場者の入退場時における対策

本公演では、演出のコンセプトとして舞台と客席が固定されていないため、来場者は入退場で公演会場を出入りすることができ、また公演会場内を自由に歩き回ることができる。これに関して、下記の通り感染症予防対策を設ける。

- 来場者には入場時、退場時に手指消毒及び靴裏消毒を促す。また、入退場時には十分な間隔（最低1m）を空けるよう案内し、人が密集しないよう努める。
- 会場の入り口における扉、ドアノブ等手が触れやすい場所の消毒を上演中も適宜行う。
- 来場者数は、会場内において十分な間隔（最低1m）を常時確保できる人数に留めるよう券売を管理する。
- 来場者にはマスクの着用が必須である旨を周知の上、会場内においても十分な間隔（最低1m）を空けるよう、また公演会場内の大声での歓談は避けるよう案内する。特に、会場内での移動の際には会話を控えるよう案内する。
- 会場内に設置する座席、あるいは座席に代わるものは接触面ができるだけ少ないものとし、上演中も適宜消毒を行う。
- 会場内ではドア・窓の開放などにより、上演中も適宜換気に努める。

(3) 会場内の物品設置および「フリマの時間」における対策

本公演では、舞台美術の一環として来場者が手に取ることができるものを会場内に設置する。また、「フリマの時間」を開催する。これに関して、下記の通り感染症予防対策を設ける。

- 来場者には使い捨て手袋を配布する。
- 来場者が手に取ることができる物品の横に消毒液を設置し、接触前後に手指消毒を促す。
- 「フリマの時間」においては、売り手は、マスクの着用と使い捨て手袋着用を徹底する。また、売り手と来場者の間においては筆談でのコミュニケーションに努めるなど、発話以外でのコミュニケーションに努める。来

場者が出品される品物を手取る際は、前後に手指消毒を促す。金銭の授受においては、コイントレーを使用するなどして、可能な限り接触を避けるよう努める。

(4) 会場内でのドリンク販売における対策

本公演は、上演に4時間を要することから、来場者の飲料補給のためドリンク販売を行う。これに関して、下記の通り感染症予防対策を設ける。

- ドリンクコーナー前では、来場者間は適切な距離を保つよう促し、大声での会話は控えるよう努める。
- ドリンクコーナーにおいて対面で販売を行う場合、マスクの着用とともに、アクリル板や透明ビニールカーテンを設置し、購買者との間を遮蔽するよう努める。
- 金銭の授受においては、コイントレーを使用するなどして、可能な限り接触を避けるよう努める。
- 購入したドリンクを飲む場所は会場外の屋外とし、対面での会話を回避するよう促す。

以上